



にかほ 議会だより

8.1

2020
vol.63



鳥海山の伏流水の恵み
夏の風物詩・小砂川の牡蠣



5月臨時会・6月定例会



臨時会・定例会	2～15
概要	2
議案・賛否一覧	4
質疑・討論	5
一般質問	6
委員会報告	11
委員会構成	15
議会のコロナへの取組ほか	16

第2回臨時会

5月1日

新型コロナ関連補正予算第1・2号を可決

飲食店支援

コロナ
対策

〔にかほ市〕テイクアウト等消費還元事業 3,650万円
飲食店等の収入確保と市内経済の安定、市民生活への支援を目的とし、テイクアウト商品を買えばスタンプを貯めると商品券と交換できる食べて応援プロジェクトを実施します。(7月で終了しました。)

〔にかほ市〕飲食店等緊急支援給付金 4,650万円
地域経済安定と活力保持を目的として、市内事業者に一律30万円助成します。(6月19日で終了しました。)

定額給付金

コロナ
対策

〔国〕特別定額給付金事業
24億2,550万円

国の家計支援事業として1人当たり10万円を給付します。国の基準(R2.4.27)を市単独で拡充(R3.3.31誕生まで)しています。国の補正予算成立後、ただちに提案、議決されました。

第3回臨時会

5月28日

新型コロナ関連補正予算第3号を可決

事業者支援

コロナ
対策

〔にかほ市〕事業継続応援給付金
1億6,000万円
通常時と比較し売上が一定程度減少した市内事業者に対し、一律20万円を支給し、事業の継続を応援します。国・県の持続化給付金等を補完するものです。
(飲食店等緊急支援金の給付を受けた飲食店等は除きます。)

学生支援

コロナ
対策

〔にかほ市〕学生生活緊急支援給付金
4,000万円
学生生活が困難になった奨学金の貸与を受けている人に対し、学業継続および生活支援を目的として給付金を交付します。
(緊急アンケートの回答から需要状況を把握し、奨学資金特別貸付事業も同時実施します。)

第4回定例会

6月9～22日

新型コロナ関連の条例改正のほか、午ノ浜温泉改修工事など補正予算第4・5号を可決

特別職の給料減額

コロナ
対策

市内経済と市民の生活への影響を考慮して、市長、副市長及び教育長の給料を7月1日から12月31日まで10分の1減額します。

議員期末手当減額

コロナ
対策

市内経済と市民の生活への影響を考慮して、その痛みを共有するため、議員の期末手当(令和2年6月支給分)を10分の1減額します。

新型コロナ感染症特例措置にかかる条例改正

コロナ
対策

市税条例の特例

寄附金税額控除、住宅借入金等特別税額控除の延長、徴収猶予の手続きなど

国保税減免

新型コロナウイルス感染症による死亡・傷病世帯、収入減少世帯など

後期高齢者医療

傷病手当金の追加

土地の無償・減額貸付

誘致企業に対し、市有財産（土地）を10年間無償、その後10年間減額（1/2）で貸付けします。

貸付けの相手方

株式会社プレステージ・インターナショナル

屋内運動施設

屋内運動施設建設工事の請負契約をします。

契約額 9億530万円

契約者 三共株式会社

主な補正予算

子育て世帯支援

コロナ
対策

子育て世帯臨時特別給付金 2,795万円

経済的援助を必要とする子育て世帯への支援対策として対象児童一人につき1万円を支給します。

ひとり親世帯支援

コロナ
対策

ひとり親世帯臨時特別給付金 1,572万円

（国2次補正/100%補助）

子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、児童扶養手当受給世帯等へ1世帯あたり5万円、第2子以降1人につき3万円を給付します。

仁賀保学童保育クラブ

仁賀保学童保育クラブ建築 3,529万円

平沢小学校敷地内に約40名収容可能な学童保育クラブを建築します。

午ノ浜温泉

午ノ浜温泉改修工事 1億4,000万円

浴室にサウナと水風呂を併設し、浴室面積を2倍にします。シルバー人材センターを移設します。

仁賀保庁舎

仁賀保庁舎関係工事 5,700万円

仁賀保庁舎冷暖房機器の更新工事を行います。

観光関連業支援

コロナ
対策

県民誘客事業 1,222万円

市内観光関連業（宿泊施設・特産品生産者など）を支援します。市内宿泊者に市内特産品を配付（わくわく作戦）、さらにアンケート回答者の中から抽選により豪華特産品を贈呈（ドキドキ作戦）します。

漁業者支援

コロナ
対策

漁業経営安定資金 2,000万円

秋田県漁協への漁業経営安定資金貸付金を増額します。これにより貸付合計額は1億円（当初貸付額8,000万円）となります。

旧上浜小学校

旧上浜小学校利活用事業 3,274万円

にかほ発ベンチャーの拠点するハード事業（Wi-Fi、オンライン会議資材ほか）と、ベンチャー創出や人材発掘獲得のためのソフト事業を行います。

空き家対策

特定空き家解体工事 1億4,996万円

旧仁賀保町の旧旅館2棟、所有者不在の空き家1件に対し、空き家対策の推進に関する特別措置法による行政代執行を行います。

※予算額に事務費等は含まれません。

議案・賛否一覽

総務…総務常任委員会、教民…教育民生常任委員会、産建…産業建設常任委員会
 予算特別…一般会計予算特別委員会 ○は賛成 ●は反対(※議長は表決しない)

番号	件名	付託委員会	結果	議席番号																	
				1 齋藤光春	2 佐々木孝二	3 小川正文	4 伊東温子	5 齋藤聡	6 齋藤進	7 森鉄也	8 渋谷正敏	9 佐藤直哉	10 宮崎信一	11 佐藤治一	12 佐々木正勝	13 佐々木春男	14 佐々木敏春	15 伊藤竹文	16 佐藤文昭	17 菊地衛	18 佐藤元※
5月臨時会 (5月1日)																					
36	にかほ市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例制定についての専決処分の報告及びその承認(専決第2号)	-	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
37	にかほ市税条例等の一部を改正する条例制定についての専決処分の報告及びその承認(専決第3号)	-	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
38	にかほ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定についての専決処分の報告及びその承認(専決第4号)	-	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
39	令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第11号)の専決処分の報告及びその承認(専決第5号)	-	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
40	令和元年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定補正予算(第4号)の専決処分の報告及びその承認(専決第6号)	-	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
41	令和元年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算(第4号)の専決処分の報告及びその承認(専決第7号)	-	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
42	令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第1号)	-	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
43	令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第2号)	-	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
5月臨時会 (5月28日)																					
44	令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第3号)	-	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
6月定例会 (6月9~22日)																					
報 告																					
1	繰越明許費の報告	-	-																		
2	事故繰越しの報告	-	-																		
議 案																					
45	にかほ市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定	総務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
46	にかほ市税条例の一部を改正する条例制定	総務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
47	にかほ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	総務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
48	にかほ市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定	教民	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
49	にかほ市国民健康保険条例の一部を改正する条例制	教民	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
50	市有財産の無償貸付け及び減額貸付け	産建	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
51	令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第4号)	予算特別	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
52	令和2年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定補正予算(第1号)	教民	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
53	令和2年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算(第1号)	教民	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
54	令和2年度にかほ市水道事業会計補正予算(第1号)	産建	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
55	にかほ市屋内運動施設建設工事請負契約の締結	産建	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
56	令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第5号)	-	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
陳 情																					
1	最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情	産建	不採択	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	-	
2	公立学校に「1年単位の变形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情	教民	不採択	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	-	
3	農産物種子条例の制定を求める意見書	産建	継続審査																		
議 提																					
3	にかほ市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	-	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

臨時会定例会概要

質疑・討論

一般質問

委員会報告

質 疑

●議案第55号

にかほ市屋内運動施設建設工事請負契約の締結

問 入札に市外の業者を入れる考えはなかったか。

答 難しい特殊な工事でないという判断で市内4業者を指名。

問 分離発注を考えられなかったか。

答 基本的に一体的に整備する必要があると判断。分離発注による経費のかかり増しも懸念した。

●議案第50号

市有財産の無償貸付け及び減額貸付け

問 プレステージ社への土地の10年無償・10年減額(1/2の2.5%)とする貸付けだが、根拠は。

答 他の同様の事案を参考にした。

問 1/2の減額貸付額はいくら。

答 年間122万2,250円。

問 令和22年7月から100%貸付か。

答 20年後からは減額なしとなる。

問 将来の費用対効果の試算は。

答 費用は市の歳出約4億円、効果は契約期間を30年とした場合歳入約6億7,800万円と試算している。

その他、地元経済への効果があり、従業員の地元消費が約1.6億円/年、市の用地造成工事費に対する経済効果が3.1億円。プレステージ社の建物建設に伴う経済効果が約3.1億円、建物の維持管理に関する経済効果約650万円/年と試算する。

事務系の業種が少ない本地域の中で一人でも多くの若者の地元就職の選択肢となり、結婚、子育てにつながれば、一番の費用対効果と考えている。

●議案第51号

令和2年度にかほ市一般会計補正予算第4号

問 旧上浜小学校の利活用事業の委託料について、事業の目的、内容、委託の方法は。

答 新たなビジネスに若者がチャレンジする「にかほベンチャーの集積地」とすることが目的。

本年度はWi-Fi設備、エアコン、照明、机、オンライン会議の機材などを整備し、オフィススペース、コワーキングスペースの環境を作る。また、施設運営の核

となる人材の発掘と育成、担い手の育成プログラムを作成、3年目には民間主導の事業へ徐々にシフトし、引き続き人材発掘、様々なベンチャー立ち上げの支援をする。

プロポーザル方式で企画提案を募集し、内容審査した上で委託契約する。

(注)コワーキングスペース
仕切られていないオープンな空間でオフィス環境を共有できるスペース

問 上浜地域からの意見は。

答 計画を早期に推進してほしい、入居企業の顔が見えるように地域の祭りや行事に加わってほしいなど。

問 事業スケジュールは。

答 委託契約後、年内に校舎内部を整備を完成させ、人材の発掘を進める。2022年までの3年間で若者のベンチャー集積地を目指す。

問 旧上郷小学校の利活用も同じような形の企画だが、旧上浜小は別の利活用を考えなかったのか。

答 旧上郷小は、情報発信、商品開発、アイデア募集を形にしていく。また、飲食や会話を楽しむスペースや直販といった形で、地域でできること、移住定住とはまた違う関係人口を目指した施設。旧上浜小は、仕事を作り出す、

仕事をする施設を想定している。

問 経済の活性化、人口減少対策のためにどのような効果があるのか。

答 事業の効果は、住民税などの税収のほか、地域集落との交流や地元購買など。また、地域外から人材を確保することで、つながりのなかった企業や人材の新たな取り組みが生まれ、地域外に発信される。本市のPRにもつながる。民間主導の運営になれば、施設の管理費、付近住民の雇用、企業が呼び水になることによる訪問者の増など、2次的・3次的な効果を期待する。

討 論

●陳情第2号

公立学校に「1年単位の变形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情

賛成討論 齋藤光春

教員の業務の明確化、教員に対するサポート体制の制度がなければ、単なる時間的な制約だけでは業務の緩和はできない。

1年単位の变形労働時間を導入するには時期尚早であり、教育制度がしっかりと確立した上でなければ教員の負担緩和ができないと考える。

一般質問

6月定例会では18人中7人が登壇しました
本会議の様子は議会ホームページから
オンデマンド(録画)でご覧いただけます

▼録画配信はこちら



さ さ き こうじ 佐々木孝二 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルスが終息するまでの事業者支援について 2. 新型コロナウイルスの影響に対する小中校生への対策について 	P. 7
もり てつや 森 鉄也 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市内社会経済への影響について 2. 旧上郷小学校利活用事業について 	P. 7
さいとう さとし 齋藤 聡 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス対策について 2. スーパーシティ構想について 3. 公衆トイレの改善の提案 	P. 8
さ さ き まさかつ 佐々木正勝 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 危機管理について 	P. 8
さいとう みつはる 齋藤 光春 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観音湫のアオコ対策及び景観改善について 2. 本市の人口減少対策について 	P. 9
さ さ き はるお 佐々木春男 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス対策に関連して 2. 学校休業と子どもたちの学びに関連して 	P. 9
いとう あつこ 伊東 温子 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス禍・ポストコロナ社会へのかほ市の対応について 	P. 10

全国市議会議長会表彰



- 議員10年以上
伊東 温子 議員
- 議員15年以上
佐藤 元 議員
- 副議長4年以上
佐々木 正明 元議員
- 議長4年以上
菊地 衛 議員

長年の市議会議員活動に対し
表彰されました。

佐々木孝二
議員

新型コロナウイルスが終息するまでの事業者支援を

録画配信



状況把握に努め適時適策で対応していく

市長

新型コロナウイルス対策について

問 主に事業者向けの対策について、市長は「今後も支援の検討を続けていく」としているが、第三弾以降の支援の想定を問う。

市長 市内事業者の状況、国、県の動向を注視しつつ都度、状況把握に努めながら、必要とされる時期に必要な支援、適時適策を行う。当初予算で計画された公共事業については、通常通り発注し、市中への資金注入を行うことでお金の循環を市内で生み出していく。

問 市内企業の倒産を出さないために、市として有効な支援を検討できないか。

市長 画一的な対応策を考へてはいるが、国、県との連携が必要。何もせずに見過ごすことなく、今後も個別の事案ごとに金融機関や国の支援機関などと情報共有を図りながらサポートに当たっていく。

子どものケアについて

問 コロナ禍の中、子供たちの学習面と心のケアをどのように検討し、対策していくのかを問う。

市長 再開後の授業により未履修部分の回復は終了している。今後は、学習の進め方が児童・生徒の負担過重にならないように配慮し、できるだけ少人数にしながら指導を工夫していきたい。

問 コロナの状況が見通せない中、オンライン授業など検討はしているのか。

市長 色々な課題はあるが現在取り組もうとしているのが「GIGAスクール」。全児童・生徒にパソコンを1台ずつ渡し、徐々に順序だてて育てていきながらオンライン教育に繋げていきたい。また、教育現場のみならず保護者も地域も全体で子供を育てていかなければならないと感じる。

森
鉄也
議員

旧上郷小利活用事業の地域との関わり方は

録画配信



地域の理解と協力を得られるよう説明していきたい

市長

新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内社会経済への影響

問 市内の経済活動への影響は。

市長 にかほ市商工会アソシエーションでは4月上が昨年同期比5割以下の減が事業者で61%、建設・サービス業で2割減、5割減、7割以上減が20%ずつあった。コロナの影響が顕著に表われている自動車や航空機関連への依存度が大きい企業は、大きく売り上げが減少。今後生産調整を検討せざるを得ないとの声もあり、近隣の企業も含め受注がかなり落ち込み、先行きが危ぶまれるとの声が多く聞かれる。

問 今後どのような対応策を講じていく考えか。

市長 今回の新型コロナウイルス感染症を教訓として皆様とともに感染防止を図っていきたい。生活や経済活動全体にさらなる悪影響を及ぼすことが懸念されている。今後とも状況を的確に把握し、見きわめ、時期を逃さず、適時適策として対

処していきたい。

地方創生のための「旧上郷小学校利活用事業」について

問 地方創生と多額の予算を伴う注目の事業である。市民並びに地域住民に、どのように、説明し理解を深めてもらうのか。

市長 地域おこし協力隊とともに地域の会合などの場をお借りして、地域のお祭りや伝承芸能、旬の食材などの動画やネットラジオの番組を作り、具体的なものをお見せしながら旧上郷小学校の利用の仕方について、引き続き御説明をさせていただきたいと思っている。

問 オープンの時期、今後計画されるもの、オープン後の管理運営は。

市長 今年度は会話や飲食を楽しめる場所を整備し、年度末以降に御利用いただける予定。来年度以降、2階、3階と段階的に整備を進め、管理運営は、市で行い、地域おこし協力隊を増員して活動の拠点としたい。

さいとう
齋藤さとし
聡 議員

スーパーシティ※1構想に取り組む考えはないか

市長 スマートシティ※2の実現に向けて進んでいく



録画配信

ひとり親世帯への給付は
問 コロナ禍の中、生活に困窮しているシングルマザー世帯への支援はできないか。

市長 一時的な現金投下ではなく子育て支援を他の自治体に比べてもより厚くしていこうと考えており生活困窮に陥いることがないようにすることが私の主眼である。

スーパーシティ構想の実現へ

問 今後の交通・医療・介護・教育・産業・行政の問題の解決のため、地方創生特区の指定を受け、「スーパーシティ構想」の実現を目指すべきでは。

市長 非常に魅力的な構想であるが、現時点では非常に難しい問題。「若者支援住宅整備」に関して5年後、10年後を見越したまちづくりの将来基盤の一部であり、スマート化は進めなければならぬと考える。

公衆トイレの改善を

問 栗山池公園などの公衆トイレに関して観光地としても公衆トイレを衛生的で女性や身障者の方に使いやすいものにするべきでは。

市長 トイレの件はゆゆしきことだと認識しており改善すべきものと考えている。

商工観光部長 今年度の公園に係る予算に於いて段階的に公衆トイレの洋式化を進める。身障者用トイレについても市内の主要な観光地には整備ができているものの、その他については今後整備を検討する必要がある。市民やにかほ市を訪れる人が快適に利用でき、再び訪れたいと思われるように清潔に管理していく。

※1スーパーシティ：人工知能（AI）やビッグデータなどの先端技術を活用した都市。

※2スマートシティ：ITや環境技術などの先端技術を駆使してまち全体の電力の有効利用を図ることで、省資源化を徹底した環境配慮型都市。

当市における危機事象と危機管理体制は

市長 大きく分けて四つに分けられ行動計画や設置基準に基づき状況により対処する



録画配信

ささきまさかつ
佐々木正勝

議員



危機事象と管理体制は

問 当市において想定準備している危機事象と危機管理体制は、どのようなになっているか。

市長 危機事象は、大きく四つに分けられ、①感染症等の健康阻害事象、②自然災害、③武力攻撃事象等、④職員、組織による法令違反、事件、施設等の事故など組織内部に要因する事象を想定。管理体制は、対策行動計画設置基準に基づき職員の参集基準及び服務基準を定めて、状況により対処することになる。

問 分かりやすい危機管理の仕組みを伺う。

総務部長 市の危機管理について、もともと分かりやすく皆様に発信できるように対応したいと考えている。

不祥事再発防止について

問 不祥事再発防止の環境として、実態調査をどのように行ったか、その結果はどうだったか。

市長 類似する業務の外部団体の事務実態把握を目的として、全ての課長

職に調査と報告を求めた結果、職員が公務として外部団体の事務を担当しているものが41件、そのうち事務処理の決裁がなされていないものが4件、会計処理に伝票が使用されていないものが5件、団体の通帳とその届出印を1人の職員が保管していたものが15件あるなどのことが分かった。

問 調査結果及び内部統制の整備・運用状況について、議会・住民への報告を行う考えはないか。

市長 議会の報告は、先ほどの答弁と資料（コンプライアンスマニュアル）の配付をもって報告とさせていた。住民への報告は、市民の皆さんにとっては、公務員の法令やルール遵守は当たり前であり、その取り組みをアピールすることは、むしろ不遜であると考えられる。

齋藤 光春 議員



観音瀉のアオコ対策は

録画配信



水位を低下させ作業可能となれば 土砂撤去を行う

農林水産
建設部長

勢至公園の観音瀉のアオコ対策について

問 令和2年度当初予算には、観音瀉の環境改善に係る予算が見られないが、どの様な予定か。

農林水産建設部長 土壌浄化効果が期待される環境微生物「マイエンザ」を投入し、経過を観察してきたが、画期的な改善は確認できていない。昨年11月より、西側の小さい方の瀉の落水を行い、本年、大きい方の瀉の水門を開き、さらに水位を低下させ、重機作業が可能となれば、土砂の撤去を行う計画。本年度補正での予算計上及び作業は確定していない。

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

問 新規学卒者、Uターン希望者、移住希望者等の雇用促進に向けた「雇用の場」を確保するために行われてきた施策の実績に対する評価と、その評価から今後どのような施策を考えているか。

市長 これまでの取組実績として、市が移住相談等で関わり、本市に移住

した94世帯のうち、世帯主の就労率の60%に当たる13人が起業あるいは創業している。

これまでも市内の多くの企業の業績が好調であることに加え、人材獲得専門の部署を持たない小規模事業者が大半を占めることから、都市圏に移住する方々の人材獲得に向けたアプローチや労働条件の整備までは目を向け切れていない。

市が首都圏在任者等と行っている個別相談などにおいても、地元企業の情報に多くの相談者の反応や手ごたえが薄いことを考えると、Uターンや移住の実績は確実に伸びているが、施策の評価としては、まだ十分とは言えない。

引き続き、人材育成や人材確保を専門とするコンサルタントを企業に招聘するなどして、時代に即した取組を行いたい。

佐々木春男 議員



学校休業と子どもたちに安心の学びを

録画配信



就学援助は柔軟に対応 子どもたちに共感し、信頼関係をつくっていく

教育長

突然の休校への見解は

問 2月に新型コロナウイルス感染症拡大の対応と称して、科学的根拠も、休校による影響対策や補償内容も示されないまま、全国一斉の小中高校等の休校要請が発表された。

突然の一斉休校要請について見解を伺う。

教育長 突然のことでは不安があり、衝撃的な要請でなかったかととらえている。感染者数が増加傾向にあり、この措置はやむを得なかったという判断をしている。

就学援助の対応は

問 家計収入急減家庭の対応として、就学援助の案内や年度途中でも速やかに認定するなどの対応が必要でないか。

教育長 就学援助を必要とする方の申請は随時受け付けることを周知し柔軟に対応していく。

安心の学校生活を

問 土曜日の授業、夏休みの短縮等により機械的に時数回復するのでなく、安心して学校生活を送ることができるよう、子どもたちの発達・成長

を踏まえた取り組みが必要でないか。

教育長 子どもたちの声にこれまで以上に耳を傾けて一人ひとりに寄り添ったきめ細かな対応と、子どもたち自身が企画運営して成就感や達成感を味わうことができるようにとの取り組みを、校長会を通してお願いしている。

教職員の働き方改善も

問 長時間過密勤務といわれている教職員の働き方の改善も必要でないか。

教育長 本市は「多忙化対策委員会」を設置し改善に努めているところだ。

今年度は、年度当初の臨時休業により、授業準備の時間が確保され、3蜜を避けるために学校行事の精選、見直しが余儀なくされ、先生方は時間的にも精神的にも少し余裕が出てきているとの報告を受けている。

今後多忙化の現状を把握し、十分な対策を講じていくよう、現場と教育委員会と一緒に頑張りたい。

コロナ感染の危機感、将来への不安に 首長の推察力と洞察力が求められるが



伊東 あつこ
温子 議員

市長 地方回帰の趨勢に 대응べくアクセルを 踏みたい



録画配信

コロナ禍の中でにかほ市に何が起こっていたのか
問 各支援窓口や市の対策室に寄せられた市民からの相談は。
市長 市の商工政策課及びにかほ市商工会で4月から中小事業者、小規模事業者向けの相談窓口を設置。4月頃は小売店や飲食店などを中心に資金繰りの相談や施策の活用方法等、多岐にわたっていた。5月以降は、主に製造業からの相談、問い合わせも徐々に増えている。
問 社協の緊急小口資金、総合支援資金の貸付相談件数は。
市長 相談4件中3件、3人に貸付けを行っている。全てコロナの売上不振ということでの申請だった。
 総合支援資金の申請はなかった。
問 市外からの問い合わせはあったか。
市長 電話やメールなどで対応をしているので数件にとどまっている。企業移転については地元企業からの問い合わせでテレワークできる業務のみを機能移転できないか

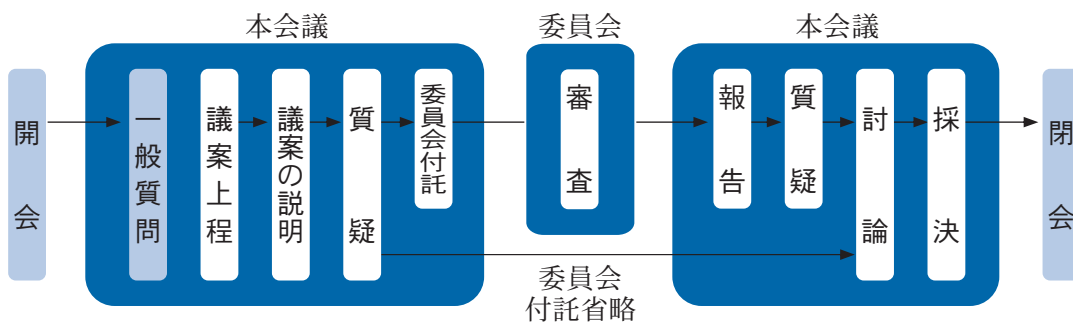
との照会がある。

ポストコロナ社会への対応は

問 ポストコロナ社会構想は何を軸に置くか。

市長 今回のコロナ禍でSociety 5.0※の実現が加速されていくものと思っている。市としてもスマートシティの研究を更に続け、その可否について検討していかねければならないと考えている。SDGsの理念による市内事業の位置付けを進め、地方からの新たな価値観の創出ということでの発信をしていきたい。どのような社会の中であっても、市民の生活を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりは基本である。市民と共にあること、歩むことはブレずに主軸にしていかなければならないと考えている。

※Society 5.0：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな未来社会。



議会の流れ

●市議会の仕事

- 【議決】 条例・予算・決算・契約・財産などを決定します。
- 【市政のチェック】 市政について、質問や問題点の指摘を行います。
- 【請願・陳情の受理】 市民の要望や意見を市政に反映させるため、請願・陳情を受理します。
- 【意見書の提出】 国や県が所管する問題は、関係機関に意見書を提出し解決を求めます。

●市議会の運営

- 議会は定期的に開かれる定例会と必要に応じて開かれる臨時会があります。にかほ市の場合、定例会は年4回、3月・6月・9月・12月に開かれます。
- 【本会議】 議案を審議し、市議会の最終の意思を決めます。（半数以上の出席が必要）市長が議案を説明し、議員が疑問点に質疑を加え、討論のうえ賛成反対を明らかにします。市政に対する一般質問も本会議で行います。
- 【委員会】 専門的に審議を深めるため、委員会で分担して審査します。委員会は、総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会などがあります。

総務常任委員会

総務常任委員会（小委員会）への付託案件はすべて全員賛成で可決しました。

付託…本会議の議決に先立って、各委員会に詳しい審査を委託すること。

一般会計の決算・予算は小委員会で分割審査している。

的に手当の全額削減する市もある。目的が異なるし、他に倣うものではない。

【質問】この提案に至るまでの手続きは。

【答弁】減額の金額、期間は市長の意思に基づき設定する。

●議案第45号

にかほ市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定（コロナ禍の影響を鑑み市長、副市長、教育長の給料月額を6カ月間、10%減額する条例改正）

【質問】他自治体では（給料だけでなく）手当も減額した例はあるか。他を参考にしてはいるか。

【答弁】減額の趣旨は、財源捻出ではなく、市長の政治姿勢として市民に寄り添うもの。それに副市長と教育長が賛同した。他市では、財源捻出を目

●議案第46号

にかほ市税条例の一部を改正する条例制定

●議案第47号

にかほ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定（新型コロナウイルスの影響による市税、国保税の徴収猶予、税額控除、減免等の規定を定めるもの）

【質問】固定資産税のわがまち特例とは。

【答弁】（先端設備を取得した3年は）地方税法で課税標準の特例率を0から2分の1で市町村の条例で定めてよい。これにより0とするもの。

一般会計予算特別 総務小委員会

●議案第51号

令和2年度にかほ市一般会計補正予算（第4号）

○消防本部施設改修工事

3,400千円

【質問】女性専用の浴室、仮眠室等への改修とのことだが、女性消防吏員の採用と勤務体制は。今までの不具合や要望は。

【答弁】女性3名は平成20、24年に採用。当初は消防署配属で一つの仮眠室を3人使用していた。浴室も共用の浴室を使用。

【質問】住宅借入金控除特例が16年度までの14年間とはどういうことか。

【答弁】コロナの影響で入居出来なかった方を救済するための措置。

【質問】（国保税の）納期を別に定めるとはどういうことか。

【答弁】通常は7月から2月までの8回。例えば3月に加入した場合、4月や5月の納期を別で定める。

令和元年度に消防職の待遇改善を図る消防委員会で、女性勤務環境整備の要望があった。

○消防団車庫改築工事

10,600千円

【質問】耐震基準未満の改築計画は。

【答弁】耐震基準未満の車庫は小国、馬場、釜ヶ台、今回の畑の4か所。団員減で存続が危ぶまれる班もある。地域と話し合い、再編も含めて検討している。

○会計年度任用職員の報酬関連

【質問】今年からの会計年度任用職員の制度を全体的にどう見ているか。人件費の増減は。

【答弁】制度移行による影響として、今年当初予算は、昨年度当初予算比約2,860万円増、平成30年度決算比で約6,060万円増。人件費は増加。

○マイナポイント設定支援業務委託料

3,465千円

【質問】にかほ市のマイナンバーカード登録者数

は。【答弁】令和2年5月末時点で2,485人、人口のおよそ10%。

○旧上浜小学校活用事業委託料

32,740千円

事業目的：新たなビジネスに若者がチャレンジする「にかほベンチャー」の集積地とする。

【質問】（事業説明中の）パートナーシップ企業、まちづくり団体とは。委託内容は人材発掘か。

【答弁】パートナーシップ企業は委託契約の相手方。まちづくり団体は、旧上浜小学校を拠点に建物を運営する団体で、主に入居者で構成される団体をイメージしている。地域プレイヤー人材の発掘は、市内外から起業・ビジネスしたい人を見つけて来ること。

【質問】首都圏からの入居者に宿舎や住居支援などは考えているか。

【答弁】公営住宅や民間住宅の斡旋など支援したい。

総務常任委員長 齋藤 進

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会(小委員会)への付託案件では陳情で賛否が分かれ不採択としたほかは、すべて全員賛成で可決しました。

●議案第48号

にかほ市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定(新型コロナウイルスの傷病手当金について、保険者である後期高齢者医療広域連合が条例改正したため、事務を行う市も条例改正するもの)

審査概要 規則で申請期日を決める予定(令和2年9月末日まで)。最長1年6カ月間支給され、今後の感染状況を踏まえ、国の基準に合わせて規則変更するとの説明。

●議案第49号

にかほ市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定
審査概要 国保運営のた

めの国の特別調整交付金があるが、新型コロナウイルスの傷病手当を支給した場合、国から全額上乘せ支給される。

同手当の支給対象者は、国保加入の給与所得者、個人事業主は報酬日額の算定が困難で支給対象にならない等の説明。

●議案第53号

令和2年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算(第1号)

審査概要 小出診療所の屋根修繕工事2,400千円について、同所は平成3年新築し同17年増改築だが、これまで屋根部分は補修等がない。修繕面積250㎡瓦葺き等の説明。

●陳情第2号

公立学校に「1年単位の变形労働時間制」を導入する条例制定に反

対する陳情

審査概要 (教員へ变形労働時間制度を導入する)法の趣旨が教育現場にはなじまないの陳情採択とする意見、継続審査の意見、願意を否定しないが採択には調査期間も含めて拙速という意見などがあつた。採決の結果、賛否が分かれ不採択とした。

一般会計予算特別教育民生小委員会

●議案第51号

令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第4号)

○年金生活者支援給付金制度に係るシステム改修費 477千円

審査概要 同制度は令和元年10月の消費増税に合わせて年金収入が少額の方に特別に給付する制度。市内で約1,300人が対象などの説明。

○特定空家解体工事 149,968千円

○家屋調査業務委託料

4,000千円
審査概要 補助金59,986千円以外は一般財源。(解体後もある程度の事務負担が見込まれるが、費用回収は見込めない)

平成25年の本格的な調査以降、危険空き家の所有者へ改善を助言。所有者の自主的な解体、修繕で危険空き家は減少している、などの説明。

○仁賀保学童保育クラブ建築工事

35,294千円
審査概要 (移転場所には平沢小敷地内で他にも検討したが)体育館2階は広さと高さが足りず、津波避難のためには校舎接続が望ましいこと等から現候補地(体育館と渡り廊下の中庭)としている、などの説明。

○子育て世帯への臨時特別給付金

27,950千円
 (子ども1人1万円を支給する国庫事業)

審査概要 予算可決後、

直ちに対象者へ案内を送付する。「辞退する人は教えてください」というもので、申請は不要などの説明。

○午ノ浜温泉浴室改修工事

140,000千円
審査概要 サウナ新設で若い利用者も見込む。手すりや明るさ、全室冷暖房など過ごしやすさも検討したい。シルバー人材センターの事務室整備に当たっては行政財産使用料を徴収。融通を利かせているものではない等の説明。

○フレイト子ども科学館押縁落下防止対策工事

4,500千円
審査概要 コーキング(機密・防水のため隙間を埋めるもの)資材の耐用年数は5〜10年。概ね5年に1回展示リニューアルをするので、今後はそれと同時に点検したい等との説明。

教育民生常任委員長
 佐々木春男

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会(小委員会)への付託案件は、陳情を不採択と継続審査としたほか、すべて全員賛成で可決しました。

●議案第50号

市有財産の無償貸付け及び減額貸付け(立地企業へ市有財産の造成土地を10年無償、その後の10年を減額貸付するもの)

審査概要 貸付料の算定根拠は、市内・市街地の工場跡地を類似として路線価を本件土地の条件に合わせて算出している。工業用地同様、一般に価格が低くなる。

立地企業の令和4年の新拠点稼働まで3000人雇用、将来計画(5000人)の確実性は高いと考えているとの説明。

●議案第54号

令和2年度にかほ市水道事業会計補正予算(第1号)

審査概要 国道敷地内に回転場、方向転換用のスパーズが設置されるため、水道管移設するとの説明。

●議案第55号

にかほ市屋内運動施設建設工事請負契約の締結

審査概要 工事に含まれる遊具等を除き、机、ロッカー類の備品は今後の予算計上となる。建設場所は、白瀬記念館、南極公園と隣接し、駐車場利用も含め道路横断者、施設間の移動、カーブもあることから、速度抑制の標示や看板、横断歩道の設置を要請した。

分割発注では経費が増額し年度内の完成が難しいとの説明。

●陳情第1号

最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情

審査概要 最低賃金の引き上げは理解するものの、

全国一律制とする場合、地方と都市との格差の解消は難しいとの意見や、新型コロナウイルスの影響など現在の社会経済情勢に鑑み、今回は不採択とし状況を見るべきとの意見も多く、採決の結果、賛成少数で不採択とした。

●陳情第3号

農産物種子条例の制定を求める意見書

審査概要 秋田県では主要農産物は基幹作物であることから、県が引き続き優良種子の安定供給に取り組みと種子生産供給体制の基本的な考え方を示しているところ。一方、本陳情のとおり、種子条例を定めた都道府県は15道県、検討中の県が13県との情報もある。

さらに調査する必要があるなどの意見が多く出され継続審査とした。

一般会計予算特別産業建設小委員会

●議案第51号

令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第4号)

号)

○森林経営管理制度委託料

1,485千円

審査概要 所有者の意向調査に先駆けて林地台帳を整備するもの。林地台帳は森林の地番や所有者などを記載した台帳。精度を高め、意向調査を進めるために行うもの。

○漁港浚渫委託料

3,000千円

審査概要 市管理の小砂川漁港の堆積砂約1,000tを搬出する。今後は長寿命化計画に基づき維持管理する等との説明。

○企業立地促進条例補助金

4,885千円

審査概要 予算計上の判断について、当初予算前に事業内容が確定していないものは補正予算対応要件を満たせば助成する等の説明。

その他、新型コロナウイルスに対応する製造業への対応は、実施中の事業継続応援給付金も製造業を含めた一つの支援。

○県民誘客支援事業委託料

7,920千円

審査概要 超神ネイガーによる誘客促進事業。観光PR動画、記念撮影ボード、宣伝ポスター製作、観光情報やキャンペーン情報の掲載、お迎えネイガーには9回など。

○県民誘客支援事業報償費

4,307千円

審査概要 特産品生産事業者と宿泊施設への支援。「わくわく作戦」、「ドキドキ作戦」として市特産品を宿泊者にプレゼントする。宣伝はAKTと提携しプロモーション周知を協議している段階。

産業建設常任委員長 森 鉄也

現場に足を運び、
目で見ています！

常任委員会現場踏査

総務常任委員会

踏査箇所

仁賀保庁舎冷暖房設備工事／旧上浜小
利活用事業／集会施設整備費補助金室
沢／消防団ポンプ車庫改築工事(畑)

1. 旧上浜小学校利活用事業

32,740千円

にかほ発ベンチャーを発掘・育成する
為の拠点施設として、Wi-Fi、エア
コン、オンライン会議機材、サテライトオ
フィススペース、コワーキングスペー
スを整備する。若い
世代がインターネ
ットを活用したビ
ジネススタイルを
構築する育成プロ
グラムを実施し、
地方で働き方のモ
デルケースを示し
ながら地方への人
の流れを誘導する。



2. 集会施設整備費補助金(室沢)

18,140千円

集会施設補助金の補助率は自治会の世
帯数により決められている。

教育民生常任委員会

踏査箇所

午ノ浜温泉浴室改修工事／仁賀保学童
保育クラブ建築工事(平沢小敷地)／
特定空家解体現場／フェライト子ども
科学館(押縁落下防止対策工事)

1. 仁賀保学童保育建築工事

35,294千円

所感 平沢小学校
敷地内の移転先は、
建物に囲まれ陽が
射さない、湿気が
多いのでないかと
懸念されたが、小
学校敷地内にある
ことのメリットも
感じられた。



2. フェライト子ども科学館押縁落下防 止対策工事

4,500千円

所感 館内でアルミ製の押縁が落下した
事例があったようだが、人的被害がなか
ったことは幸いだった。資材等の耐用年
数だけでなく、日常点検、メンテナン
スが重要との認識を持った。

産業建設常任委員会

踏査箇所

プレステージ・インターナショナル貸
付予定地／屋内運動施設建設工事現
場／温泉保養センターはまなす／油井
閉塞工事現場／道の駅象潟ねむの丘

1. 「株式会社プレステージ・インターナ ショナル」貸付予定地

現在、市内でコールセンター業を経営
している株式会社プレステージ・イン
ターナショナルが令和4年開業を予定す
る「にかほ統合BPO(新拠点)」敷地
として、市有地2
686.69㎡を
無償貸付け(令和
2年7月から10ヶ
年)、減額貸付け
(令和12年7月か
ら10ヶ年)を行う
もの。



2. 「温泉保養センターはまなす」蒸気ボ イラー更新工事

220万円

故障による更新。この蒸気ボイラー
(平成15年製)は、補充加温用を使用し
てきたもので、すでに耐用年数15年を経
過している。

委員会の構成が変わりました

任期 令和2年5月28日から令和4年4月30日まで



議会運営委員会

委員長 伊藤 竹文
副委員長 佐藤 治一
委員 齋藤 光春
宮崎 信一
佐々木春男
佐々木敏春
佐藤 文昭



総務常任委員会

委員長 齋藤 進
副委員長 佐藤 文昭
委員 小川 正文
伊東 温子
渋谷 正敏



議会改革推進会議

委員長 小川 正文
副委員長 伊東 温子
委員 佐々木孝二
齋藤 聡
齋藤 進
渋谷 正敏
佐々木春男
佐々木敏春
佐藤 元



教育民生常任委員会

委員長 佐々木春男
副委員長 佐々木孝二
委員 齋藤 光春
齋藤 聡
佐々木正勝
伊藤 竹文



広報広聴委員会

委員長 佐々木敏春
副委員長 齋藤 聡
委員 佐々木孝二
小川 正文
伊東 温子
伊藤 直哉
佐藤 竹文
佐藤 文昭



産業建設常任委員会

委員長 森 鉄也
副委員長 佐藤 直哉
委員 宮崎 信一
佐藤 治一
佐々木敏春
菊地 衛

にかほ市議会の

新型コロナウイルスへの取り組み

議会もできることを実施しています



2月末小中高の臨時休校、4月中旬緊急事態宣言、5月下旬同宣言解除と日本の新型コロナウイルス対策は推移しました。にかほ市議会でも、議会の役割を果たしつつ新型コロナウイルスへの取り組みを行っています。



1. 政務活動費、常任委員
員会視察費の返上
令和2年度予算から約480万円減額し、市の支援策の財源とされます。

2. 新型コロナウイルス感染症対策方針の策定
議会運営上の対応（マスク着用、議場の消毒・換気、距離の確保、委員会の分庁開催ほか）
各種行事への参加自粛

・各議員の健康観察

3. 市長への要望書提出
にかほ市民の健康と生活を守るため次の事項を要望しました。

- ・感染拡大を防止する環境整備（情報発信・相談体制の強化ほか）
- ・事業者・困窮者への支援（支援の早急実施、独自支援の拡充ほか）
- ・子どもたちのケア（オンライン学習の推進、放課後への配慮、学業継続支援ほか）
- ・孤立、差別、偏見、ハラ・スメント等への対応

4. 議員の期末手当減額
市民経済と生活への影響に対し、その痛みを共有するため、議員全員の6月期末手当を10分の1減額しました。



3. 市長への要望書提出

議会活動報告

4/10、7/10	議会改革推進会議
4/14、6/12、7/14	広報広聴委員会
4/24、5/1、5/21	議会運営委員会
6/2、6/16、6/22	
7/22	
4/24、5/21、7/22	説明会
4/24、5/1、5/21	全員協議会
6/9、6/16、6/22	
5/1、5/28、7/30	臨時会
5/15、6/16	会派代表者会議
5/1、5/18	にかほ市議会災害対策本部 (新型コロナウイルス)役員会
6/9～18	6月定例会
6/9	正副議長・正副委員長会議
7/10	日沿道期成同盟会
7/16～17	県市議会議長会定例会

掲載した他、市内外の行事多数あり

9月定例会の予定

9/ 1(火)	初日 本会議 (市政報告、議案説明ほか)
9/ 3(木)	本会議(一般質問)
～4(金)	
9/ 8(火)	本会議(議案質疑、付託ほか)
9/ 9(水)	常任委員会審査
～17(木)	
9/18(金)	最終日 本会議 (委員長報告、討論、採決ほか)

※予定ですので、傍聴の際は電話でご確認ください。

議会事務局 TEL 43-7511

編集後記

2回の臨時会と14日間にわたる6月定例会が終わった。「コロナの第2波、3波への備えが叫ばれる。ウィズコロナはこれからだ。」
にかほ市議会は、一昨年より「議会からの政策形成」に向け、中高生や一般の方々とは3回にわたり意見交換を行い、市民からの声を政策提言につなげる協議を重ねてきた。議会と市民の距離を縮める取り組みとの評価をいただくと、手応えを感じていた矢先、コロナの直撃を受けてしまった。今社会は、感染防止のための「ソーシャルディスタンス」が必須となったが、一方で物理的な距離を保ちながらも、人と人が寄り添うことが求められている。今後2年、広報広聴委員会は、アフターコロナを見据え、市民と議会とを結び「新しい仕組み作り」に向き合いたい。

議会広報広聴委員会
委員長 佐々木 敏春